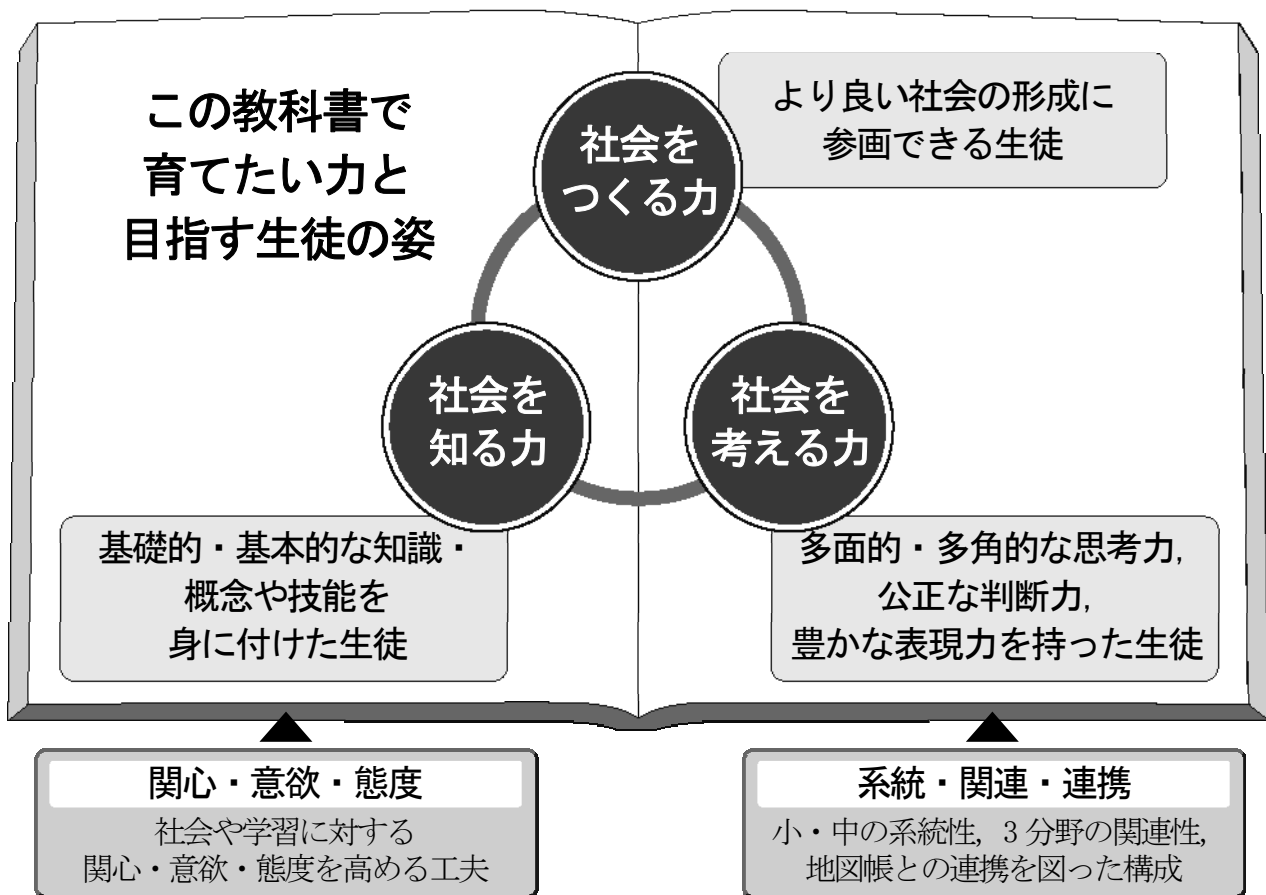


編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-91	中学校	社会	社会（歴史的分野）	第 1～3 学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
2 東書	歴史 729	新編 新しい社会 歴史		

1. 編修の趣旨及び留意点



1. 教育基本法に定められた教育の目的である、「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質」の育成に資するために、家庭や学校、地域社会の構成員、国家・社会の形成者としての資質を備え、我が国の伝統と文化を重んじ、創造性豊かに社会を構築していく、心豊かな生徒の育成を目指し、以下の点に留意しました。
 - ①社会に対する関心を高め、社会の在りようや課題を正しく認識するために、社会科の基礎的・基本的な知識や概念、技能を確実に習得し、「確かな学力」を身に付けられるように配慮しました。
 - ②我が国や世界が抱える諸課題について考察し、解決の方法を考える力を育成するために、多面的な思考力、公正な判断力、豊かな表現力を身に付けられるように配慮しました。
 - ③グローバル化や情報化の進展など、急速に変化する現代社会に対応し、より良い国家や社会を構築する力を育成するために、主体的に社会に参画する意識や態度を養えるように配慮しました。
2. 小学校第3学年から中学校第3学年までの7年間で学習する「社会科」の位置付けと、地理・歴史・公民3分野の学習を総合した中学校の「社会科」の特性を重視し、小学校社会科との系統性を高め、中学校社会科3分野の関連を図り、併せて地図帳と連携した学習を展開することで、教育基本法に定められた教育の目標が達成できるように配慮しました。

2. 編修の基本方針

■ 編集方針①…【社会を知る】 基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に定着させる

- ・中学校社会科で習得すべき知識や概念を過不足なく盛り込みました。特に、時代区分や抽象的な概念といった、知識を定着する上で必須の事項や、生徒がつまづきやすい事項については、巻末の「用語解説」で簡潔な補足説明を加えることで、定着を確実にするように配慮しました。
- ・多様な技能を身に付け、社会的な見方・考え方を身に付けさせるために、歴史資料の見方や調べ学習を行う際の手法を豊富に紹介し、歴史学習に必要な基礎的スキルを習得できるように配慮しました。

■ 編集方針②…【社会を考える】 多面的・多角的な思考力、公正な判断力、豊かな表現力を育てる

- ・本文の記述を補完する写真・グラフ・地図などの資料を豊富かつ効果的に配置し、資料を読み取る視点を適切に示唆することで、読み取りや解釈を通して、思考力や判断力を身に付けられるように配慮しました。
- ・見開きごとに短時間で取り組める言語活動を設けたり、各時代の最後にその時代のまとめの言語活動を設けたりすることで、思考・判断した内容を、適切に表現する力が身に付けられるように配慮しました。

■ 編集方針③…【社会をつくる】 より良い社会の形成に主体的に参画する力を育てる

- ・領土をめぐる問題や地球環境問題など、我が国や国際社会が抱える諸課題について、歴史的背景を取り上げることで、諸課題の背景や経過に目を向け、解決のためにできることを考えられるように配慮しました。
- ・中学生が積極的に社会参画している写真を掲載したり、身近な地域の歴史を調べる学習で地域の将来について考える教材を取り上げたりすることで、歴史的分野の学習で習得した知識・概念や技能、身に付けた思考力・判断力・表現力を活用して、積極的に社会参画をしていく意識と態度を養えるように配慮しました。

■ 編集方針④…【関心・意欲・態度】 社会や学習に対する関心・意欲・態度を高める工夫

- ・教科書の導入となる見返しや、各単元の導入では、学習内容に関連する写真を豊富に掲載し、学習への関心や意欲を高められるようにしました。
- ・中学生が実際に活動している場面などを掲載したり、日常生活に関連する身近なトピックを取り上げたりすることで、自分の生活する社会への関心や、より良い社会の形成に参画する意欲や態度を高められるようにしました。

■ 編集方針⑤…【系統・関連・連携】 小・中の系統性、3分野の関連、地図帳との連携を重視する

- ・各時代の学習の最初に、小学校社会科の学習事項や小学校社会科教科書に掲載された資料を位置付け、振り返りの活動を設けることで、小・中の学習をスムーズに接続できるように配慮しました。
- ・地理的分野と歴史的分野の学習の上に公民的分野の学習を位置付けることで、中学校社会科の教科としての目標を達成するために、「環境・エネルギー」「防災・安全」「伝統文化・宗教」「人権・平和」の四つのテーマで、一つの社会的な課題や事象について、3分野それぞれの視点から考察する深化教材やコラムなどを掲載しました。


● 3分野の関連で扱った教材の例

テーマ／教材		地理的分野	歴史的分野	公民的分野
環境・エネルギー	エネルギー	さまざまな発電方法の特徴と課題 ▶170-171 ページ	人類の歴史とエネルギー ▶272-273 ページ	日本のエネルギー政策とこれから ▶182-183 ページ
	公害と克服	工業化・都市化にともなう地域への影響 ▶186 ページ	現代の公害問題とその克服 ▶268-269 ページ	公害のない社会へ ▶160-161 ページ
伝統文化・宗教	イスラム教	イスラム教と人々の暮らし ▶41 ページ	歴史の中のイスラム文化 ▶136-137 ページ	パレスチナ問題と中東和平 ▶190-191 ページ
	伝統的工芸品(南部鉄器)	生まれ変わる南部鉄器 ▶247 ページ	南部鉄器のおこり ▶121 ページ	世界で活躍する日本の中小企業 ▶129 ページ
防災・安全	震災と防災(東日本大震災)	震災と防災・減災への取り組み ▶154-155 ページ	歴史の中の大震災 ▶270-271 ページ	東日本大震災からの復興と防災 ▶112-113 ページ
	都市の安全(東京)	集中豪雨から都市を守る地下調節池 ▶229 ページ	江戸の火消し ▶125 ページ	社会の安全と人権 ▶65 ページ
人権・平和	アイヌ民族	アイヌの人たちと多文化共生 ▶262 ページ	北海道とアイヌ民族の歴史 ▶234-235 ページ	アイヌ民族と先住民族の権利 ▶66-67 ページ
	沖縄と平和	沖縄の土地利用 ▶185 ページ	戦争を記憶し、平和を発信する沖縄 ▶263 ページ	沖縄と基地 ▶43 ページ

- ・同一の写真・グラフ・地図を3分野共通で掲載し、各分野の視点で考察する活動を設けることで、地理・歴史・公民3分野の学習内容の関連を図り、一つの事象を多面的・多角的に考察する力を育てられるように配慮しました。
- ・地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野の学習内容においても、教科用図書「地図」との連携を図ることで、学習内容を地理的に把握し、理解を深められるように配慮しました。

3. 対照表

■ 教育基本法第2条の各号に定められた教育の目標を実現するために、教科書全体を通して、以下のような配慮をしています。

各単元に共通する内容		該当箇所																												
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色																													
平易な文章	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を平易に記述しました（第1号）。 	全体																												
	<ul style="list-style-type: none"> 本文での学習内容を補充する「歴史にアクセス」を設け、関連した知識を確実に習得できるようにしました（第1号）。 →121ページ 	27, 28, 45, 49, 73, 77, 87, 109, 121ページ など全体で30か所																												
	<ul style="list-style-type: none"> 本文での学習内容を深化させた「深めよう」を設け、本文の学習内容を基礎にして、学習をさらに掘り下げられるようにしました（第1号）。 	58-59, 60, 92-93, 94, 136-137ページ など全体で13教材																												
	<ul style="list-style-type: none"> 学習に必要な技能を確実に身に付けさせるための「歴史スキル・アップ」を、学習の初期段階に設け、学習した内容を確認する「ワーク」を設定することで、歴史学習に必要な技能を確実に定着できるようにしました（第1号）。 →39ページ 	8-9, 27, 39, 52-53ページ																												
女性コラム 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史上の女性を紹介するコラムを設け、各時代で重要な役割を果たしてきた女性について取り上げることで、男女の平等の意義について考え、自己と他者を尊重する態度が養えるようにしました（第3号）。 →71ページ 	51, 71, 115, 183, 185, 203, 211, 263ページ																												
人物コラム 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史上の人物を扱ったコラムを豊富に設け、先人が各時代の課題を解決し、人々の願いを実現していったことを取り上げることで、我が国の歴史に誇りと愛情を持てるようにしました（第5号）。 近代以降の人物については出身県を入れることで、郷土の偉人を確認できるようにしました（第5号）。 1185ページ 	49, 79, 87, 106, 107, 110, 124, 185ページ など																												
私たち歴史探検隊 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の歴史を調べる学習の事例を各時代に設け、郷土の歴史に目を向け、郷土を愛する心を身に付けられるようにしました（第5号）。 <table border="1" data-bbox="391 1556 1252 1758"> <thead> <tr> <th>時代</th> <th>事例</th> <th>地域</th> <th>ページ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古代</td> <td>古代の玄関口・福岡</td> <td>福岡県福岡市</td> <td>54-57</td> </tr> <tr> <td>中世</td> <td>戦国時代の城下町・一乗谷</td> <td>福井県福井市</td> <td>88-91</td> </tr> <tr> <td>近世</td> <td>浮世絵にえがかれた風景から</td> <td>東京都台東区・文京区</td> <td>134-135</td> </tr> <tr> <td>近代①</td> <td>街の中に残る歴史・神戸</td> <td>兵庫県神戸市</td> <td>186-189</td> </tr> <tr> <td>近代②</td> <td>原爆ドームの保存と平和への願い</td> <td>広島県広島市</td> <td>230-233</td> </tr> <tr> <td>現代</td> <td>町の歴史から将来を考える</td> <td>福島県いわき市</td> <td>264-267</td> </tr> </tbody> </table>	時代	事例	地域	ページ	古代	古代の玄関口・福岡	福岡県福岡市	54-57	中世	戦国時代の城下町・一乗谷	福井県福井市	88-91	近世	浮世絵にえがかれた風景から	東京都台東区・文京区	134-135	近代①	街の中に残る歴史・神戸	兵庫県神戸市	186-189	近代②	原爆ドームの保存と平和への願い	広島県広島市	230-233	現代	町の歴史から将来を考える	福島県いわき市	264-267	左記参照
時代	事例	地域	ページ																											
古代	古代の玄関口・福岡	福岡県福岡市	54-57																											
中世	戦国時代の城下町・一乗谷	福井県福井市	88-91																											
近世	浮世絵にえがかれた風景から	東京都台東区・文京区	134-135																											
近代①	街の中に残る歴史・神戸	兵庫県神戸市	186-189																											
近代②	原爆ドームの保存と平和への願い	広島県広島市	230-233																											
現代	町の歴史から将来を考える	福島県いわき市	264-267																											
	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の歴史を調べる事例には、調べ学習に必要なスキルを身に付けるための「調査の達人」を設け、探究的な学習を、主体的に進められるようにしました（第1号・第2号）。 →47ページ 	18, 55, 57, 90, 91, 135, 187, 188, 233, 267ページ																												
国宝・重文マーク  世界遺産マーク 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の中で残されてきた文化遺産を豊富に取り上げ、国宝や重要文化財、世界遺産にはマークを付すことで、我が国の伝統と文化に目を向け、尊重する態度を養えるようにしました（第5号）。 	全体																												

単元ごとの内容		
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見返し	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な我が国の国宝・重要文化財や、日本各地の世界遺産、我が国の主な史跡を紹介し、我が国が世界に誇れる伝統や文化を理解できるようにしました（第5号）。 	前見返し 後見返し
第1章 歴史の流れを とらえよう	<ul style="list-style-type: none"> 時代や年代の読み取り方を、年表の読み取りとともに学習する「歴史スキル・アップ」を設け、歴史学習の基盤になる知識や技能を習得できるようにしました（第1号）。 身近な地域の歴史について調べる際の手順を丁寧に説明し、地域社会に積極的に関わり、主体的に社会の形成に参画する意識と態度を養えるようにしました（第3号）。 	8-9 ページ 12-18 ページ
第2章 古代までの日本	<ul style="list-style-type: none"> 歴史地図の見方や、系図の読み取り方、絵巻物に関する「歴史スキル・アップ」を設け、歴史学習で重要な「資料の読み取り」の力を養うことで、主体的に学習を進められるようにしました（第1号・第3号）。 日本の神話やそれらを題材にした神楽を取り上げる「深めよう」を設け、日本の伝統文化に目を向けさせるとともに、伝統が現在の社会にも息づいていることが理解できるようにしました。（第5号）。 	27, 39, 52-53 ページ 58-59 ページ
第3章 中世の日本	<ul style="list-style-type: none"> 古代から近世まで続く「朝貢体制」を取り上げる「深めよう」を設け、歴史上の国際関係に目を向けることで、国際的な視野を養えるようにしました（第5号）。 現代まで続く「室町文化」を取り上げる「深めよう」を設け、伝統や文化が現在まで影響をあたえていることに気付かせるようにしました（第5号）。 	92-93 ページ 94 ページ
第4章 近世の日本	<ul style="list-style-type: none"> 江戸時代の環境に配慮した生活を取り上げる「深めよう」を設け、環境問題に対する意識を高められるようにしました（第4号）。 現代の生活にも生かされているイスラム文化について取り上げる「深めよう」を設け、異文化に対する理解を促し、尊重する態度を養えるようにしました（第5号）。 	138 ページ 136-137 ページ
第5章 開国と 近代日本の歩み	<ul style="list-style-type: none"> 公害問題の原点といわれる足尾銅山鉍毒事件を取り上げる「深めよう」を設け、環境保全に対する意識を高められるようにしました（第4号）。 日本の文化が世界に影響をあたえた事例である「ジャポニスム」を紹介する「歴史にアクセス」を設け、日本の文化の国際性に目を向けられるようにしました（第5号）。 	192 ページ 185 ページ
第6章 二度の世界大戦と 日本	<ul style="list-style-type: none"> 人物コラムや「歴史にアクセス」で国際的に活躍し、評価される日本人を取り上げることで、勤労観の基礎を養えるようにしました（第2号）。 アイヌ民族の歴史を取り上げる「深めよう」を設け、多文化共生の重要性を意識できるようにしました（第5号）。 	202, 223 ページ 234-235 ページ
第7章 現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> 歴史上の震災とそれを乗り越えてきた先人の姿を取り上げる「深めよう」を設け、防災や安全についての意識を高め、東日本大震災以降の社会づくりに主体的に参画する意識が持てるように配慮しました（第3号）。 身近な地域の歴史を調べる事例では、地域の将来について提案する活動を設け、地域づくりに主体的に参画する意識が持てるように配慮しました（第3号）。 現代の公害問題と、それを克服してきた地域の取り組みや、人類が利用してきたエネルギーの歴史について取り上げる「深めよう」を設け、環境問題やエネルギー問題に対する意識を高め、自分たちにできることを考えられるようにしました（第4号）。 我が国が抱える領土をめぐる問題を取り上げる「歴史にアクセス」を設け、領土をめぐる問題の歴史的背景や経過を取り上げることで、問題を正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題について意識できるようにしました（第5号）。 	270-271 ページ 267 ページ 268-269, 272-273 ページ 252-253 ページ



←前見返し(第5号)

歴史
スモールアップ 1 時代や年代を読み取ろう

歴史の学習をするときは、時代ごとの大きな特徴や出来事を知ることが大切です。この冊子では、時代ごとの大きな特徴や出来事を、年代ごとの流れに沿って紹介しています。

歴史の100年単位で時代を区別します。紀元1年を境に100年単位で時代を区別し、100年単位で時代を区別して時代を区別します。また、紀元前をBC、紀元後をAD、1000年単位で時代を区別し、1000年単位で時代を区別します。

2000年単位で時代を区別します。
①200年 ②500年

歴史の100年単位で時代を区別します。紀元1年を境に100年単位で時代を区別し、100年単位で時代を区別して時代を区別します。また、紀元前をBC、紀元後をAD、1000年単位で時代を区別し、1000年単位で時代を区別します。

2000年単位で時代を区別します。
①200年 ②500年

歴史の100年単位で時代を区別します。紀元1年を境に100年単位で時代を区別し、100年単位で時代を区別して時代を区別します。また、紀元前をBC、紀元後をAD、1000年単位で時代を区別し、1000年単位で時代を区別します。

2000年単位で時代を区別します。
①200年 ②500年

←1章 8-9 ページ(第1号)

歴史にアクセス 「命のビザ」

第二次世界大戦のさなかの1940年7月、ポーランドのユダヤ人が、ナチス・ドイツの迫害からのがれるため、ソ連と日本を通過してアメリカなどにわたろうと、リトアニアの日本領事館におし寄せました。領事代理の杉原千敏は、ドイツと同盟関係にあった日本政府の意向を無視して、1か月余りにわたり、寸微をおしんでビザ(査証)を書き続け、約6000人の命を救いました。杉原の人道的行方は、同様に多数のユダヤ人を救ったドイツ人実業家のオスカー・シンドラ(1908～74)と並んで、国際的に高く評価されています。

④「命のビザ」(上)と杉原千敏(1900～86)

16章 223 ページ(第2号)

人類の歴史とエネルギー

人類の歴史は、エネルギーの発展と密接に関係しています。エネルギーの発展は、人類の生活や社会の発展を支えています。

① 火の発見
② 石炭の発見
③ 石油の発見
④ 電気の発見
⑤ 原子力の発見

人類の歴史は、エネルギーの発展と密接に関係しています。エネルギーの発展は、人類の生活や社会の発展を支えています。

① 火の発見
② 石炭の発見
③ 石油の発見
④ 電気の発見
⑤ 原子力の発見

←1章 8-9 ページ(第1号)

3 身近な地域について提案しよう

みなさんは、これまで調べた内容をふまえて、これからのいわき市について考え、提案することになりました。

身近な地域の将来について提案しよう

① 新しい物を出発点としてだけ考えるのではなく、少める物や大きく伸びる物も考えよう。
② 自分自身が、提案を実現するにない手になるということも考えて、実現できそうな提案をしよう。

身近な地域について提案しよう

① いわき市は企業にも目立って大きく、新しくしたトマトが栽培されている。新学舎で栽培して、いわき市のトマトの新しいイメージや安全性をアピールしてはどうか。
② いわき市には、温泉や、スリッパ・ハイソックスのほかに、さまざまな温泉や観光地がある。そうしたら、温泉の魅力を伝えるキャラクターをどうするか。
③ いわき市の他の中学校と協力して、いわき市内の各地の観光地や温泉についての資料を集め、ウェブページを作成したり、動画を作って発信してはどうか。

④ いわき市が企業にも目立って大きく、新しくしたトマトが栽培されている。新学舎で栽培して、いわき市のトマトの新しいイメージや安全性をアピールしてはどうか。
⑤ いわき市には、温泉や、スリッパ・ハイソックスのほかに、さまざまな温泉や観光地がある。そうしたら、温泉の魅力を伝えるキャラクターをどうするか。
⑥ いわき市の他の中学校と協力して、いわき市内の各地の観光地や温泉についての資料を集め、ウェブページを作成したり、動画を作って発信してはどうか。

17章 267 ページ(第3号)

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- **メディアリテラシーへの対応** 近代史の部分から、学習内容に関連する新聞記事を取り上げ、新聞が歴史学習の上で効果的な教材であることを示したり、歴史上のマスメディアの役割について取り上げたりすることで、メディアリテラシーが身に付くように配慮しました。▶207, 210, 217, 219, 225, 256-257 ページ
- **特別支援教育への対応** 地図やグラフではカラーバリアフリーに配慮するとともに、読みとりやすいゴシック体の振り仮名を採用するなど、色覚特性がある生徒や、小さな文字が読みにくい生徒など、さまざまな生徒が無理なく安心して学習できるように配慮しました。
- **授業のしやすさへの配慮** 資料には見開きなどのまとまりで通し番号を付け、対応する本文の上に対処の図番号を付すなど、先生方が授業で指示しやすいように配慮しました。
- **環境への配慮** 再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-91	中学校	社会	社会 (歴史的分野)	第 1~3 学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
2 東書	歴史 729	新編 新しい社会 歴史		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 内容の程度・分量

①見開き 1 単位時間の構成で, 柔軟な指導計画の作成が可能

- 本文は見開き 2 ページで 1 単位時間を原則にしています。
- 目次・索引, 巻末資料などを除いたページ数は 271 ページで, 標準授業時数 130 単位時間のうち, 5 時間の予備時間を設け, 柔軟な指導計画の作成が可能です。

②バランスの良い配当時数

- 授業時数は, 歴史学習の導入に 1 単位時間, 第 1 章に 6 単位時間, 第 2 章に 19 単位時間, 第 3 章に 14 単位時間, 第 4 章に 21 単位時間, 第 5 章に 25 単位時間, 第 6 章に 19 単位時間, 第 7 章に 14 単位時間, 身近な地域の歴史の調査に 6 単位時間を配当しており, 適切な配当といえます (5 ページの「対照表」参照)。

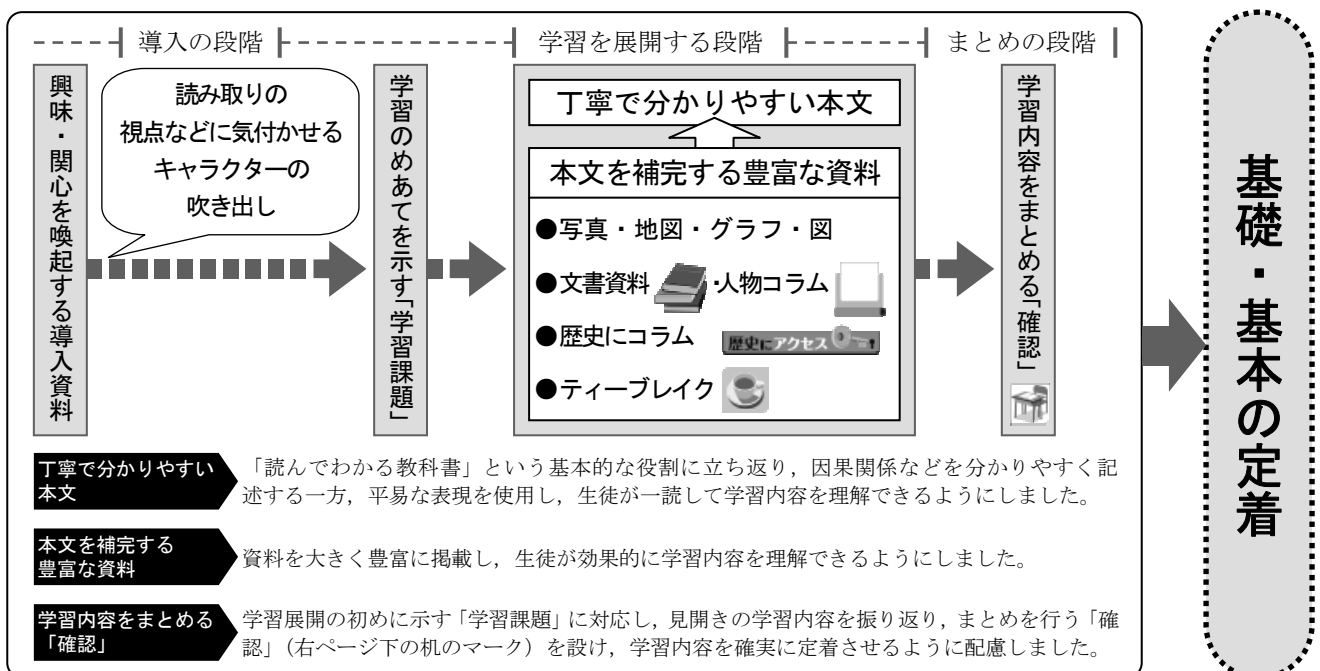
③学習指導要領の内容に沿った構成と理解しやすい本文記述

- 内容の程度・範囲は, 学習指導要領に示された内容を基に構成し, 文章も敬体 (ですます体) を用い, 因果関係を明確に記述する一方, 中学生の発達段階を考慮した, 平易な表現を使用しています。

② 学習指導要領・今日的な諸課題への対応

①歴史的な分野の基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に定着させる

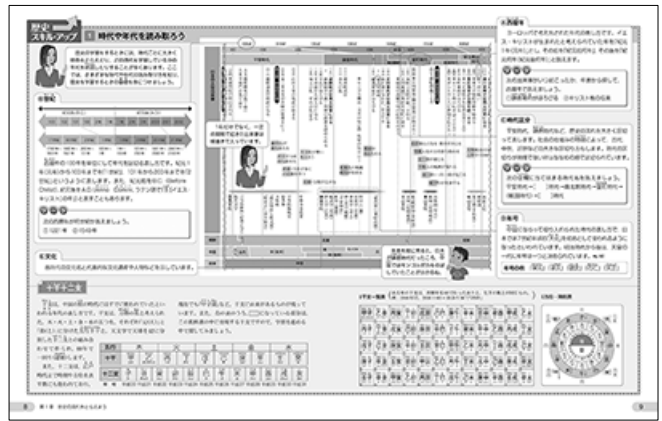
- 見開き 1 単位時間の紙面を, 「興味・関心を喚起する導入資料→学習のめあてを示す『学習課題』→丁寧に分かりやすい本文→学習内容をまとめる『確認』(右ページ下の机マーク)」の流れで構造化し, 学習内容が確実に定着するように工夫しました。



- 「時代や年代の読み取り方」「系図の読み取り方」など、歴史学習の基礎的な知識・技能を身に付ける「歴史スキル・アップ」を設け、それぞれに確認問題の「ワーク」を設けることで、確実に定着できるようにしました。

➡8-9, 27, 39, 52-53 ページ

→8-9 ページ



- 各時代の最後には、学習した知識・概念を確認する「この時代の歴史の学習を確認しよう」を設け、定着の確認と振り返りができるようにしました。

➡62, 96, 140, 194, 238, 274 ページ

→238 ページ



- 抽象的な概念や、公民的分野で学習する内容については、24年度教科書より充実させた用語解説で説明し、確実に理解できるようにしました。

➡276-281 ページ

②段階的な言語活動で、

思考力・判断力・表現力を育む

- 各見開きには、説明・要約などの短時間でできる言語活動によって、学習内容をまとめる「確認」(右ページ下の机マーク)を設けました。

- 各時代の終わりには、「この時代の特色をとらえよう」「歴史学習のまとめをしよう」を設け、通史学習の「確認」でのまとめの積み重ねを基に、「ウェビング」「比較表」「ディスカッション」といった多様な言語活動によって、時代の特色をとらえられるようにしました。

➡61, 95, 139, 193, 237, 275 ページ

共通点や相違点に着目したまとめ

机マーク

平氏の政治の特色、院政と其の関連する点や異なる点から説明しよう。

↑69 ページ

机マーク

上の「目的」について、43ページの「目的」と比べて、院政の院の数の仕事の内容に注目して、想いを挙げよう。

↑71 ページ

比較表でまとめる



↑95 ページ

時系列を意識したまとめ

机マーク

第二次世界大戦前後でどのような変化があったか、欧米を中心に説明しよう。

↑203 ページ

机マーク

第二次世界大戦でのドイツと次の関係、戦争の経過に沿って説明しよう。(①フランス ②イタリア ③露)

↑223 ページ

年表でまとめる



↑237 ページ

- 「身近な地域の歴史」を調べる「私たち歴史探検隊」などには、調べ学習の過程での言語活動のポイントを、「調査の達人」として提示しました。

➡18, 55, 57, 90, 91, 135, 187, 188, 233, 267 ページ

→91 ページ

調査の達人

レポートにまとめよう

①調査した内容を、項目ごとに整理しよう

②項目ごとに分けたものを整理して、調べた内容を短くまとめて分かりやすい文章にしよう

③説明は、調べた内容を短くまとめて分かりやすい文章にしよう

④学習課題を意識してまとめよう

1 ページ目

2 ページ目

③我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考え、国土や歴史に対する理解と愛情を深める

- 通史学習では、政治史や経済・社会史に偏重することなく、文化史にも十分な紙面を割り、見返しには、伝統の中で生まれてきた国宝や重要文化財、主な史跡、我が国が世界に誇れる世界遺産などを取り上げました。

▶前見返し、後見返し、39、46-47、58-59、74-75、86-87、110-111 ページなど

→前見返し



- 教科書中に写真を掲載している国宝・重要文化財、世界遺産にはマーク(宝 重 世)を付し、文化財を通して歴史に対する理解と愛情を育てられるようにしました。

→51 ページ



◎源氏物語絵巻 (愛知県 徳川美術館蔵) この絵のように、日本の自然や風俗をえがいた絵は大和絵と呼ばれ、日本画の基になりました。

- 小学校の学習指導要領に示された42人の人物をもれなく取り上げたり、時代のポイントになる人物をエピソード的に紹介した「人物コラム」を随所に設けたりすることで、人物を手がかりにした歴史学習ができるようにしています。「人物コラム」では、近代以降の人物については出身県を入れることで、郷土の偉人を確認できるように

▶49、79、87、106、107、110、116、124 ページなど

足利義満 (1358～1408)

義満は、南北朝の動乱をすずめて統一を実現させました。朝廷の内部にも勢力を広げて太政大臣と

なつて権力をにぎりました。(京都府 鹿苑寺蔵)

179 ページ

佐藤栄作 (1901～1975)

1965年に、「沖縄が復帰しない限り、戦争は終わらない」と訴え、沖縄の復帰を実現させました。また、1974年にはその功績からノーベル平和賞を受賞しました。

121 ページ

- 我が国が抱える領土をめぐる問題の歴史的背景と経過を取り上げるコラムを設け、領土をめぐる問題を正しく理解し、解決に向けての意識を高められるようにしました。

▶252-253 ページ

→252-253 ページ



④公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う

- 「私たち歴史探検隊」では、「身近な地域の歴史」を調べることを通して、社会の形成者としての資質を養えるよう、時代や地域が異なる6事例を紹介しました。▶54-57、88-91、134-135、186-189、230-233、264-267 ページ
- 現代の事例では、身近な地域の将来について提案する活動を設け、社会参画への意識が高められるようにしました。▶267 ページ

⑤環境・エネルギー、防災・安全、人権・平和など、今日的な課題の解決のための意識と態度を育てる

- **環境・エネルギー** 現代の公害問題とその克服への取り組みや、歴史上の環境保全についてのトピック、人類のエネルギー利用の歴史を、通史部分や「深めよう」で取り上げることで、環境やエネルギーの問題への意識が高まるようにしました。▶138、192、268-269、272-273 ページ
- **防災・安全** 歴史上の災害やそれを乗り越えてきた人々の姿、歴史上の防災対策を取り上げることで、防災への意識や態度を養えるようにしました。▶125、262、270-271 ページなど
- **人権・平和** 現代の人権問題につながる歴史(差別された人々の歴史)や、アイヌ民族、琉球王国の歴史についてもページを割いて扱い、歴史的な背景をとらえることで、人権についての意識を高め、多文化共生の視点を持つるようにしました。▶87、92-93、115、127、190-191、234-235 ページなど

3 構成・配列

①「時代の特色の理解」を確実にする単元の構造化

- 各時代の学習を、『時代を概観しイメージする導入部』→『通史の学習をする展開部』→『時代の特色をまとめる終結部』という流れで構造化し、学習指導要領の目標に示された「時代の特色の理解」を確実にできるようにしました。

→中世の例 導入部：63-65 ページ→展開部：66-87 ページ→終結部：95-96 ページ

②小学校の社会科学習との円滑な接続に配慮した構成

- 第1章「歴史の流れをとらえよう」では、小学校の学習指導要領で示された42人の人物や、文化財を振り返る活動を設け、中学校での歴史学習にスムーズに導入できるようにしました。

→5-11 ページ

- 各時代の導入部では、小学校の社会科学習を振り返るプロセスを設け、小学校での学習の基礎の上に、中学校の学習を系統的に積み上げられるようにしました。

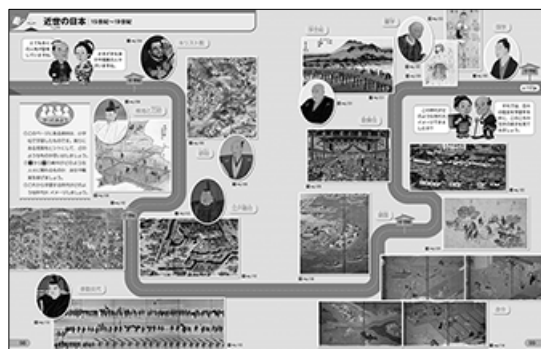
→19-21, 63-65, 97-99, 141-143, 195-197, 239-241 ページ

小学校の学習内容で構成した年表



197 ページ

小学校で扱った資料や用語を基にした導入の活動



198-99 ページ

③分野の学習の関連を図った教材構成

- エネルギー問題や、震災と防災対策、伝統的工芸品といった、並行して学習する地理的分野や、第3学年で学習する公民的分野での学習と関連する事象については、3分野共通で扱い、他分野との関連を示す「分野関連マーク」を付すことで、多面的・多角的な学習を可能にしました。

→25, 85, 119, 121, 144-147, 172-173, 268-273 ページなど

→270-271 ページ



④学習効果を高める写真や図表の工夫

- 歴史研究の成果を踏まえ、復元写真や想像図など、歴史を実感できる資料を豊富に掲載しています。

→19, 20-21, 22, 24, 33, 34, 36 ページなど

- 小さな資料は実物大で掲載し、大きな資料にはサイズを付すことで、生徒が具体的なイメージを持って学習できるようにしています。→実物大資料 26, 32, 35, 42, 56, 82, 107, 120-121, 157, 165 ページ

4 印刷・造本

①生徒が使いやすい造本面の工夫

- 視覚的効果が高い幅広の判型(AB判)を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になるように工夫しています。また、使用している文字の大きさや書体は適切で、読みやすいものになっています。
- 針金綴じを用いて製本するなど、造本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えるものになっています。

②特別支援に関わる適切な配慮

- 色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフでは線種でも見分けがつくようにしています。
- 小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体の振り仮名を採用しました。

③用紙等の環境への配慮

- 用紙には、強度と発色性とを兼ね備えた質の高い再生紙を使用し、環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えするように工夫しています。
- 印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
歴史学習の初めに		1 ページ	1
第1章 歴史の流れをとらえよう	(1)-ア	5-18 ページ	6
第2章 古代までの日本	(1)-ア, イ	19-62 ページ	19
導入	(1)-ア, ウ	19-21 ページ	1
1 節 世界の古代文明と宗教のおこり	(2)-ア	22-31 ページ	5
2 節 日本列島の誕生と大陸との交流	(2)-ア, イ	32-37 ページ	3
3 節 古代国家の歩みと東アジア世界	(2)-イ, ウ	38-53 ページ	8
●古代の玄関口・福岡（地域の歴史 1）	(1)-イ	54-57 ページ	(6)
まとめ	(1)-ウ	61-62 ページ	2
第3章 中世の日本		63-96 ページ	14
導入	(1)-ア, ウ	63-65 ページ	1
1 節 武士の台頭と鎌倉幕府	(3)-ア, イ	66-75 ページ	5
2 節 東アジア世界との関わりと社会の変動	(3)-ア, イ	76-87 ページ	6
●戦国時代の城下町・一乗谷（地域の歴史 2）	(1)-イ	88-91 ページ	(6)
まとめ	(1)-ウ	95-96 ページ	2
第4章 近世の日本		97-140 ページ	21
導入	(1)-ア, ウ	97-99 ページ	1
1 節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	(4)-ア	100-111 ページ	7
2 節 江戸幕府の成立と鎖国	(4)-イ	112-119 ページ	4
3 節 産業の発達と幕府政治の動き	(4)-ウ, エ	120-133 ページ	7
●浮世絵にえがかれた風景から（地域の歴史 3）	(1)-イ	134-135 ページ	(6)
まとめ	(1)-ウ	139-140 ページ	2
第5章 開国と近代日本の歩み		141-194 ページ	25
導入	(1)-ア, ウ	141-143 ページ	1
1 節 欧米の進出と日本の開国	(5)-ア, イ	144-159 ページ	8
2 節 明治維新	(5)-イ, ウ	160-173 ページ	8
3 節 日清・日露戦争と近代産業	(5)-ウ, エ	174-185 ページ	6
●街の中に残る歴史・神戸（地域の歴史 4）	(1)-イ	186-189 ページ	(6)
まとめ	(1)-ウ	193-194 ページ	2
第6章 二度の世界大戦と日本		195-238 ページ	19
導入	(1)-ア, ウ	195-197 ページ	1
1 節 第一次世界大戦と日本	(5)-オ	198-211 ページ	7
2 節 世界恐慌と日本の中国侵略	(5)-カ	212-221 ページ	5
3 節 第二次世界大戦と日本	(5)-カ	222-229 ページ	4
●原爆ドームの保存と平和への願い（地域の歴史 5）	(1)-イ	230-233 ページ	(6)
まとめ	(1)-ウ	237-238 ページ	2
第7章 現代の日本と世界		239-275 ページ	14
導入	(1)-ア, ウ	239-241 ページ	1
1 節 戦後日本の発展と国際社会	(6)-ア, イ	242-257 ページ	8
2 節 新たな時代の日本と世界	(6)-イ	258-263 ページ	3
●町の歴史から将来を考える（地域の歴史 6）	(1)-イ	264-267 ページ	(6)
まとめ	(1)-ウ	274-275 ページ	2
		予備時間	5
※予備時間は、生徒の自主的な学習活動の時間や評価などにあてる時間です。 ※「地域の歴史」は、教科書の6事例を参考にし、全体で6時間を配当することを想定しています。		合計	130